

「非開削」「極小口径管路」を生かす道

キーワード

非開削, 極小口径管路, 一重管ボーリング方式, 鋼管削進工法, 特殊削進工法



1. まえがき

「非開削」「極小口径管路」を生かす道

現時点における仕事の絶対量, 必要性等は正直削進工法として独立性において成り立つ状況ではないと思っている。今後も工法としての安定条件を満たすことは難しいかもしれない。

但し, 分野の増加に伴い工法・機械・特殊オペレーターの養成等それぞれに独創性をプラスすることで可能性はぐんと広がる。単価・作業エリアの極小・削進の速度等に対応すれば可能かと思っている。その反面, 単価・作業エリアの極小・削進の速度等は最もやりたくない分野でもある。

土質条件・埋設物・作業エリア等を細分し, 施工見積を行うことで今後, 「極小口径管路」がひとつの工法として成り立つように独創性を十分に生かし前進するよう努力している。

2. 分野別変化予測表

表-1 分野別変化予測表

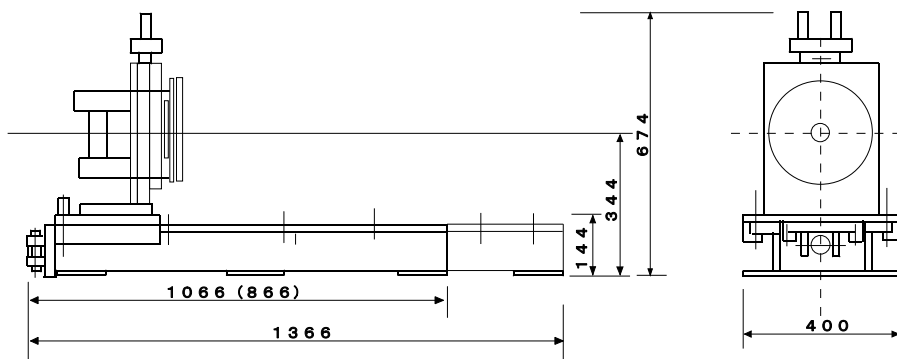
項目	用途	仕事量	内容
上水道	土中配管	↗	記録・目印
雨水	農業用水	↗	雨水集合再利用
排水水抜き	土手・トンネル内	↗	孔開けパイプの削進
電線	電柱をなくす	↗	小スペース目印発進
電話線	電柱をなくす	↗	小スペース目印発進
光ケーブル	地中深く埋設	↗	深さ目印 中口径ボックス
アンカー	土手の水抜き	↗	新方式の開発スピード性
ボーリング	注入による地面の固定	↗	新方式の開発スピード性

3. 現在の対応工法、機械・仕様・実績

3-1 ベビーモール一重管ボーリング方式

【機械】

KYT-105 WH



仕様

回転力	500kg-m
最小立坑	φ900
推進力	10ton
ストローク	600mm
最大鋼管径	φ400
本体重量	150kg
動力	22kw

図-1 KYT-105WH